

ブロックチェーンで経済構造が変わる

どんな研究？

ブロックチェーンは2008年にサトシ・ナカモトを名乗る謎の人物／集団が発明した技術です。分散型仮想通貨ビットコインの駆動システムとして登場しましたが、改ざん困難なデータを多数当事者で正しく共有できる性質は幅広い応用が可能です。ブロックチェーンを利用した社会・経済システムはこれまでの仕組みと何が違うのでしょうか。具体的な応用例を見ながら、ブロックチェーンが社会基盤になる時代の到来を先取りします。

何がわかる？

ブロックチェーン・エコノミーは3つの階層から構成されます。

<第3層> レギュレーション・テック

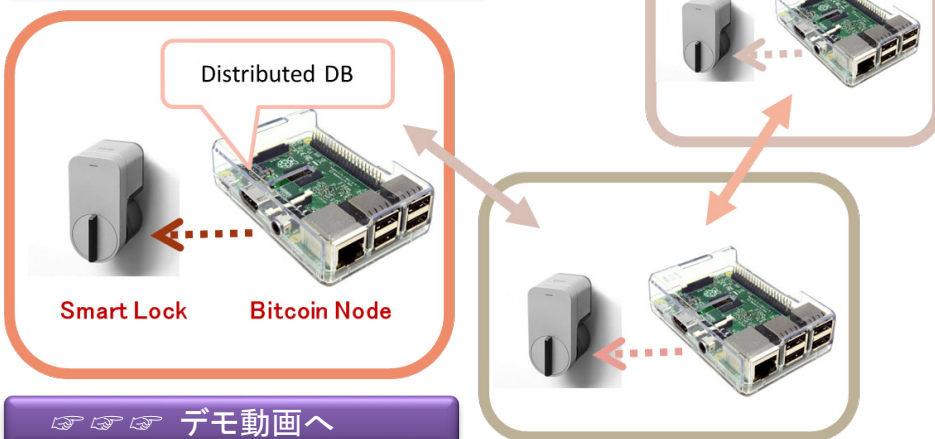
<第2層> シェアリング・エコノミー

<第1層> CODE

ブロックチェーンのCODE上で駆動するアプリケーションが、シェアリング・エコノミーなどのビジネスモデルを表現します。契約内容はルール層に実装され、違反すると自動執行されます。

状況設定

Blockchain Sharing Economy

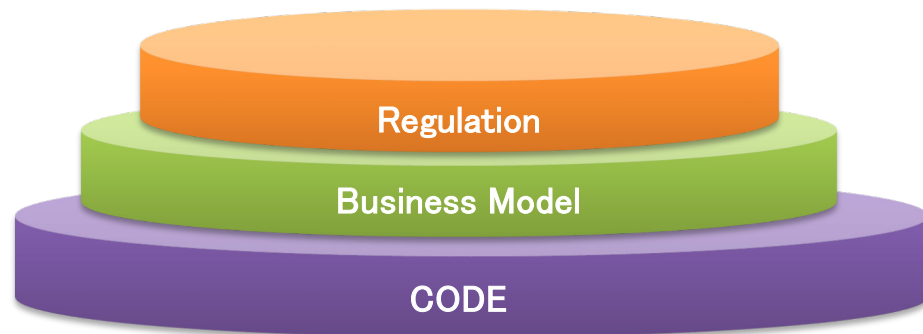


👉👉👉 デモ動画へ

ドアノブの前でビットコインを送金するとノードが検知して開錠

研究内容

ビットコインの第1層を流れているのは仮想的な金銭価値です。第2層には、シェアエコノミーの鍵などのアセットが流れます。第3層には、停止条件付き自動執行契約システムを実装します。
👉👉👉 左図【シェアリング・エコノミーの電子キーを表現】



ブロックチェーン・エコノミーの3層構造モデル